



国立研究開発法人森林総合研究所 公開シンポジウム

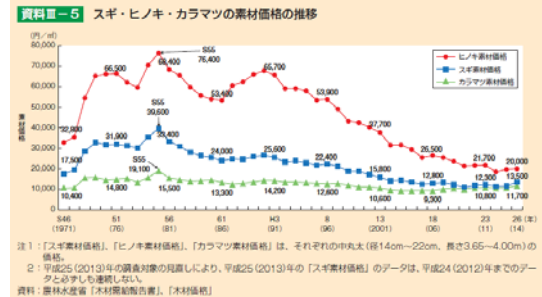
カラマツとカラマツ研究のこれから カラマツ資源の持続的利用に向けて

趣旨説明



低位ながら堅調な素材価格、相対的な地位上昇

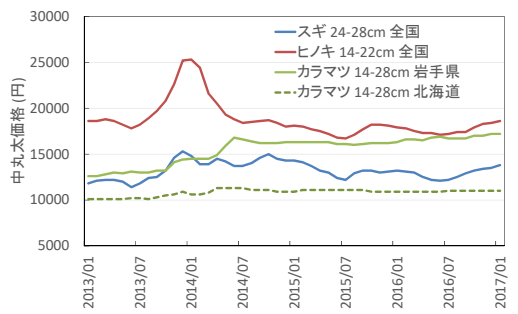
樹種別素材価格の長期的な推移(1971年以降)



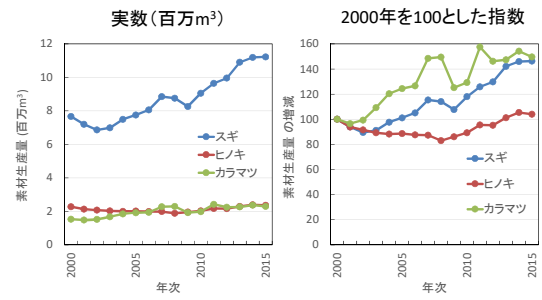
出典:平成26年度 森林・林業白書

カラマツがスギを抜き去り、ヒノキに迫る地域も

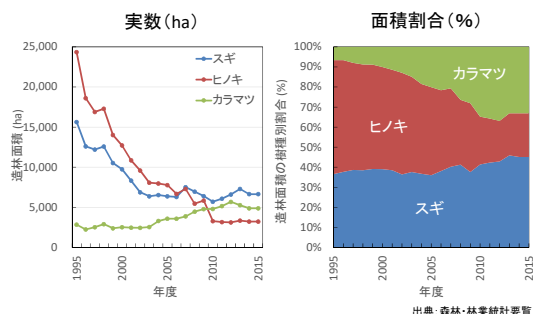
素材価格の短期的推移(2013年1月~2017年1月)



カラマツの素材生産量は最近20年間で1.5倍に



カラマツの年間造林面積はヒノキを上回り、全体の1/3に



第1部 カラマツとカラマツ研究のあゆみ

13:15-15:00

1. カラマツとカラマツ研究の歴史
武井富喜雄(長野県林業大学校)
2. 北海道産カラマツの将来を予測する
津田 高明(道総研林試道南)
3. 長野県におけるカラマツ利用開発の足跡
吉田 孝久(長野県林業総合セ)

第1部 カラマツとカラマツ研究のあゆみ	13:15-15:00
(現在進行中のカラマツ研究)	
4. 本州以南におけるカラマツの安定供給と持続的利用方策の提案 細田 和男(森林総研)	
5. 北海道産カラマツを用いた高性能な構造部材の開発と普及 大橋 義徳(道総研林産試)	
6. 優良苗の安定供給と下刈り省力化による一貫作業システム 宇都木 玄(森林総研)	
7. カラマツ種苗の安定供給のための技術開発 田村 明(林木育種セ)	

第2部 パネルディスカッション	15:30-17:00
カラマツ研究のこれから ーカラマツの持続的利用と安定供給にむけてー	
パネリスト	吉田 孝久(長野県林業総合セ) 津田 高明(道総研林試道南) 大橋 義徳(道総研林産試) 佐藤 肇(中部森林管理局) 辻 龍介(宮城県林業振興課) 三田林太郎(株式会社三田農林) 駒木 貴彰(森林総研東北)
司会	高橋 正義(森林総研)

趣旨
過去から現在までのカラマツ林業およびその研究を振り返るとともに、カラマツの持続的利用に向けた研究ニーズやカラマツ林業のイノベーションについて広く議論を進めるためのシンポジウムです。
結論を目指すのではなく、今後の研究課題あるいは実務、行政上の課題を摘出し、共有する場になればよいと考えています。
登壇者はもとより、ご参集の皆さんの積極的なご発言、ご議論をお願いいたします。